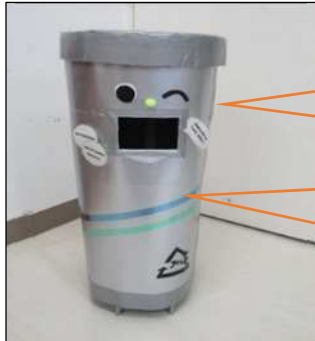




富士山とともに 輝く未来を拓くまち  
SDGs 未来都市 富士市



こんにちは。アルミ君です。  
今年度もたくさんのアルミ缶を持ってきてくれてありがとう！  
係のPTAの皆様も、ありがとうございました。

安藤紙業さんのトラックが来ると、「にじ組に任せて！」と、年長さんがアルミ缶を運んでくれました。にじ組の格好良い姿を、さくら組やひよこ組が応援していたことで、来年度にも継承できると嬉しいな。

〇前回のたよりでも予告しました、アルミ缶回収業者の安藤紙業さんが、3月8日(火)パッカー車に乗って来園されました。アルミ缶回収やリサイクルについて色々なことを教えてくれました。



園庭にパッカー車が入って来ると「大きい〜」「ごみ収集車だよ！」と口々に言い合い、喜んで集まりました。回収されたアルミ缶はどうなるのか、なぜ集めるのかについて学びました。



集めたアルミ缶は、工場に集められ、熱い火の中に入れて溶かして、缶や生活に必要な物に生まれ変わることを教えてくれました。また、その巡回を“リサイクル”と呼ぶことも知りました。アルミ製品を探すには、磁石を使うと聞き、早速子どもたちが試しています。(つかない物がアルミ製品) にじ組さんからは、たくさんの質問がありました。

Sさん「何を使って熱くするの？」 A 大きなコンロのような物を使って溶かします。

Kさん「溶かす時にどんな感じになる？」 A すごく熱くてどろどろになります。

Mさん「形を作る時は、どうするんですか？」 A どろどろのアルミニウムを型に流します。



Sさん「どうやってアルミ缶を開ける所を作っているの？」 A↑と同じで型にはめます



安藤紙業さんが、わかりやすく回答をしてくだだったので、子どもたちから「へえ〜」と関心を寄せる声がたくさんあがりました。



にじ組が劇で使った大きな段ボールの背景を、パッカー車に入れました。一口で飲み込む様子に、大きな歓声と「さようなら〜」「ありがとう」「新しい段ボールになってね」という声も聞こえました。段ボールもアルミ缶同様にリサイクルされ、新しい段ボールに生まれ変わるそうです。パッカー車を近くで見せようと、にじ組は、この時も、質問が止まりません。なんと、パッカー車の構造に興味をもち始めていました。

『なぜアルミ缶回収をするのか』（“お金のため”一択だった、去年のさくら組(現にじ組)）が、リサイクルのためだったと、園全体で知ることができて良かったです。また、本物を見る体験が、“不思議”と“知りたい”意欲をこんなにも高めることを知り、保育にもつなげていきたいと思いました。



○動物と一緒に地球の未来を考えよう

日本平動物園と、静岡大学が協力して、オラウータンの生態についての絵本動画が配信されています。少し難しい話ですが、各クラスでも動画絵本を閲覧しました。

世界で起きている問題は、様々な要因が複雑に絡み合っていて、単純に解決できません。しかし、子どもたちも現実を知り、自分なりに、どうしたらいいか考える姿もありました。興味のある方は、“SDGs デジタル絵本 動物と一緒に地球の未来を考えよう”を検索してみてください。冊子は、園にもあります。担任に伝えてください。